

令和7年8月7日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

犬山市長 原 欣伸

市町村名 (市町村コード)	犬山市 (23215)
地域名 (地域内農業集落名)	今井地区 (四ツ家,中屋敷,祢宜洞,中央,虎熊,観音堂,岩穴,落洞)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年7月14日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

変更なし

(2) 地域における農業の将来の在り方

変更なし

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	31.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	31.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

- ・新たな担い手の追加、それに伴い地域計画区域内農地の耕作者の変更
- ・営農型太陽光発電の更新に伴い、地域計画の達成に支障が生じないか確認

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
情勢の推移に伴う地域計画の変更及び営農型太陽光発電の更新について協議し、地域計画の達成に支障がないと判断した。 その他の方針については変更なし。
(2)農地中間管理機構の活用方針
変更なし
(3)基盤整備事業への取組方針
変更なし
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
変更なし
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
変更なし

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

変更なし